5410　補充項目：β-ジカルボニル化合物

β−ジカルボニル化合物は 2 個のカルボニル基が 1 個の炭素原子を挟む構造で，下図に示す部分構造を持ちます．

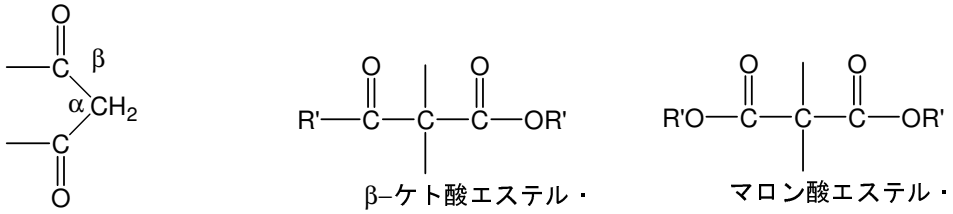
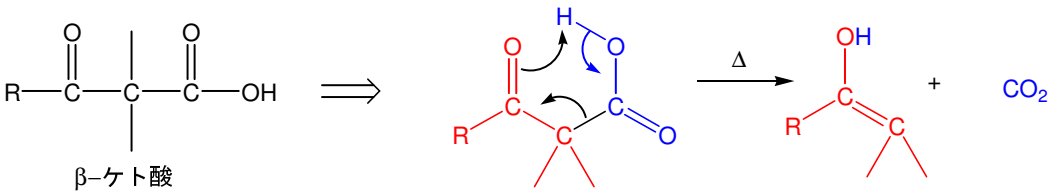


図 1．β-ジカルボニル化合物．

<u>β−ジカルボニル化合物の特徴</u>

2 個のカルボニル基に挟まれた CH_2 または CH の H の酸性は強く（*p*Ka=9～11），そのため塩基で容易にアニオン（CH^-）となります．これを利用してアルキル基を導入することができます．

また，β-ケト酸エステルおよびマロン酸エステルは，加水分解によりカルボキシ基は脱炭酸（6 員環遷移状態）するので，有用な合成手法となります（**5430** を参照）．